

# 小美玉鍋で

# あったまる旅

近所旅 02

りんごも  
獲れるんだね

ほのぼの  
するね



買ったぞ〜(笑)

鍋の食材が手に入る  
直売所がたくさん

## 花野井 新鮮野菜直売所

▲ 小美玉市花野井737  
☎ 0299-47-1707  
🕒 8:30~17:00  
📅 1月1日~4日

## 花木センター 野菜直売所

▲ 小美玉市部室1189-4  
☎ 0299-48-2031  
🕒 9:30~17:15 📅 不定休

## たまご倶楽部らん卵

▲ 小美玉市田木谷855-16  
☎ 0299-58-0706  
🕒 9:00~18:30 📅 年中無休

## JA新ひたち野 産地直売所みのり

▲ 小美玉市部室1151-7  
☎ 0299-48-1307 🕒 9:00~18:00  
📅 月曜

## 直売所ワイワイ

▲ 小美玉市柴高古林1014-1  
☎ 0299-56-6662  
🕒 9:30~17:30 📅 月曜

## 直売所ドリーム

▲ 小美玉市外之内482-17  
☎ 070-7483-7731  
🕒 10:00~17:00  
📅 日曜、月曜

## 空のえき そ・ら・ら 農産物直売所

▲ 小美玉市山野1628-44  
☎ 0299-56-5200  
🕒 9:00~18:00  
📅 1月1日~3日

鍋が恋しい季節。鍋にぴったりの冬野菜が美味しい時期になりました。新鮮な地元野菜が並ぶ直売所へ繰り出せば、大きく育った野菜に驚いたり、新たな食材と出会えたりと、面白い物がワクワクするお出かけに変身！鍋食材を集めたら、家でお鍋に。あったまる旅は、家に帰ってからも続きます。



ご近所旅に

出かけよう

## レンコン



茨城県は日本一のレンコン生産地。霞ヶ浦に面する玉里地区も主要な産地の1つです。輪切りにすると見た目も華やか。レンコン入りつくねはシャキシャキ食感が楽しめます。



傷がつかないように丁寧に掘り取ります。

## 白菜



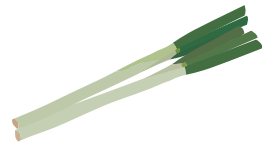
冬に旬を迎える白菜は鍋の定番具材。市内の直売所でも大きく育った白菜が販売されています。豚ばら肉と白菜を重ねたミルフィーユ鍋は絶品です。



場所:トキワ園芸農業協同組合

食材を集めたら。。。  
家で小美玉鍋

## ネギ



冬のネギは柔らかく甘みがあり、鍋にぴったりの食材。小美玉市でも生産が盛んで、直売所には各生産者が丹精込めたネギがたくさん並んでいます。



場所:JA新ひたち野産地直売所みのり



## ニラ



県内1位の生産量を誇る小美玉市のニラ。小川地区・美野里地区で盛んに生産されています。美味しいニラの見分け方は、葉の幅が広めで肉厚なものを選ぶとよいそうです。



1株で7回ほど収穫できるニラは、土作りが大事です。



わあー！  
うまい！

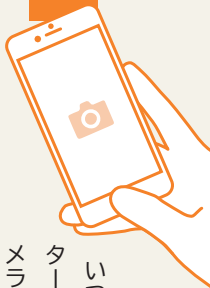
モデル:清水昭子さん・茉奈美さん





# スマホひとつでステキな写真を撮る旅

近所旅 03



いつも持ち歩くスマホは、シャッターチャンスを見逃さない優秀なカメラ。撮影のコツがわかれば、誰でも素敵な写真を撮ることが出来ます。プロにコツを教えてもらって、近所旅をより楽しみましょう！

## ルール 3 被写体(見せたいもの)を画面の1/3に寄せる

人物が主役の場合、画面の端の3分の1に収まるように撮ると、雰囲気のある写真になります。簡単なのに、プロっぽくなるのでおすすめです(笑)。余白を作ることで、逆に主役が活きます。



人物の視線が写真中央を向くようにスペースを作るのがコツ。花や山などの風景を撮るときにも使えるワザです。

## ルール 1 水平を意識する

地平線や水平線が斜めになると違和感が出るので、水平になるように撮りましょう。撮影画面にグリッド(補助線)を表示すると、水平な写真が撮りやすくなりますよ。後で傾きに気づいた場合は、スマホの機能で補正することもできます。



グリッドの表示方法: iPhoneの場合、「設定」▶「カメラ」▶「グリッドをオン」で表示されます。

## ルール 2 スマホの高さを変えて写真に変化を

目の位置で撮影しがちですが、高さを変えるだけで、写真に変化がきます。しゃがんで下から見上げるようにしたり、階段や台があれば上から撮るのもいいです。普段の視点とは違う写真になり、見え方が変わったり、迫力が出たりします。



空や上にある背景が大きく写ります。人物を撮るときは足が長く見える効果も。

地面近くの花を背景にしたいときは、上から撮るのがおすすめ。人物の笑顔も大きく写ります。

教えてくれたのは...

フリーカメラマン  
滑川 瑞穂さん



結婚式や七五三など人物写真を主に活動中。「家族の思い出を写真でたくさん残してほしいです」小美玉市在住。

＼ 私たちが実践してみました! /



広報おみたま取材チームがそれぞれのスマホで挑戦!



滑川さんの教えをすく実践。効果は抜群でした!

## 撮った写真どうしてる? 眠らせておくのはもったいない!

### 小美玉フォトコンテストに応募してみる

締切: 2021年2月26日(金)

これぞ! という写真が撮れたら、フォトコンテストに応募してみよう。テーマは「小美玉市って素敵だね」。入賞すれば、撮影した写真をたくさんの人に見てもらえるだけでなく、賞品ももらえます。

小美玉フォトコンテスト



### SNSで紹介してみる

素敵な写真は、SNSで友達にシェア。あなたが見つけたまちの魅力が、誰かのお気に入りになるかもしれません。



撮影時はマナーや肖像権に注意。周囲の迷惑にならないようにするのも忘れずに。

# 「自分も周りも幸せにする 私のオススメ」を語ろう

## Interview インタビュー



いいと思ったことは  
人に見せることで広がる

私は守谷市に住んでいます。休みの日にまちを歩いてみたり、自転車で走ったりすると、ふだん車で通りすぎて気がつかない景色や、マンホールのふたのデザインなど、新しい発見があります。「〇〇に新しいパン屋を発見した」とツイッターやブログに書いたりすると、割と反応があったりして、ちょっと嬉しいものです。

SNSやブログで発信しなくても、いいと思ったものの写真を家族に見せるだけで、情報伝達が倍になりますよね。自分が知らなかったこと、おもしろいと思ったことは、他の人も知らなかったり、おもしろいと思ってもらえることが多いです。



まちの魅力を語れる人は  
シビックプライドの持ち主

海外出張で、現地スタッフの車に乗ると必ず、ドライブしながら自分のまちを案内してくれます。みんな自分のまちのことをよく知っていて、「私のオススメ」を自然に語ります。自然だから、自慢がいやらしく聞こえませんが、シビックプライドとはこういうことを言うんだなと思いました。日本

人の「いい」と思っているも表に出せない奥ゆかしさは、良い点でも悪い点でもありません。  
好きなものを語れる人はどこか幸せそうです。それは周りの人にも伝播します。まちの魅力を語れる、シビックプライドを持つことの意義です。

まち歩きで  
「私のオススメ」探し

まちには面白いものがいっぱいあります。人は、知らないものは好きになれません。そして、自分が住んでいるまちのことは意外と知らないものです。皆さん、ぜひご近所旅という名のまち歩きに出かけ、「私のオススメ」を探してみましよう。そして、気に入ったことを周りの人に伝えてください。それが、小美玉市が目指す「市民主体のシティプロモーション」です。

### 取出新吾さん

インテルでエンジニア、営業などを経験後、茨城県広報監に就任し、3年間にわたり広報のトップを務める。2018年4月から、防災科学技術研究所総合防災情報センターでセンター長補佐。2019年6月から、市シティプロモーション推進懇談会の会長を務める。



市職員の研修会で、相手のことを考えて情報発信することが大事と語る取出さん。